



皆さんの家庭でできること、
たくさんあるんです！

市民編には
エコライフの
ヒントが
いっぱい。
ぜひ一読を。

みなさんのご家庭では、食事の
残り物をどうしていますか。

みそ汁1杯分の浄化に
浴槽4杯分の水が必要

環境問題の一つになっている河
川の水質汚濁。その最大の原因が
家庭から出される生活排水です。
そして、その中で最も汚れがひど
いのが台所からの排水で、生活排
水の中の汚れの約40%が台所から
出ていると言われています。

家庭からの生活排水が
河川汚濁の最大の原因

廃油や残ったみそ汁を
そのまま流していませんか？

おわん1杯分（200cc）のみそ汁
を魚が住める水質にするのに、浴
槽（300ℓ）約4杯分の水が必要に
なるのをご存じですか。また、た
った1ccの油でも約200ℓの水が必
要になるのです。

台所排水の主なものBODの
測定結果は下表のとおりで、川の
水の数万～数百万倍。何気なく捨
てている残り物が川の水を汚して
いるのです。

BOD（生物化学的酸素要求量）
水中の有機物が微生物により分解さ
れる時に消費された酸素量。数値が
大きいほど汚れが大きい。

各種講座や教室に参加して
楽しくエコライフを始めよう

親子エコクッキング講座

旬の野菜を使って、簡単にでき
る料理を親子で楽しく作ります。
とき▼7月7日（日）・13日（土）・20日
（土）・27日（土）午前10時～正午 とこ
ろ▼東部公民館 対象▼市内在住
・在勤・在学の子供 定員▼12組
講師▼杉浦ひろ子氏（エコクッキ
ングの会） 参加費／材料費（1
組当たり）▼400円／2000円

残り物を作らない
そのまま捨てない

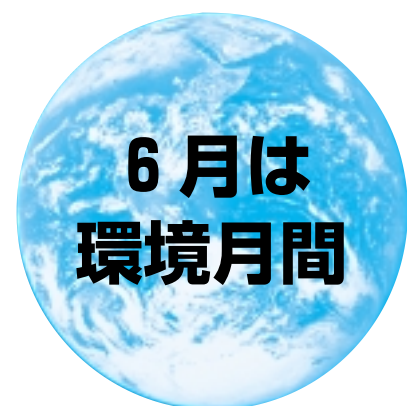
BODの測定結果	
(単位：mg／ℓ)	
品名など	BOD
河川の水	1～10
みそ汁	31,000
ラーメンの汁	41,000
米のとぎ汁	900
ビール	90,000
牛乳	120,000
てんぷら油	2,204,000

- 残り物を作らない工夫、そのま
ま捨てない工夫をしてください。
- みそ汁などは必要以上作らない
- 米のとぎ汁は庭木などの肥料に
- 食器や鍋の汚れは、あらかじめ
ふき取ってから洗う
- 廃油は、市販の凝固剤を利用し
たり、古紙などに吸わせたりし
て燃やせるごみの日に出す

申し込み・問い合わせ▼6月9日
（日）午前9時から同公民館（☎77
7881）へ ※定員を超えた場
合は抽せんになります。

廃油石けん作り教室

廃油を再利用した固形石けん作
り教室を随時開催しています。
対象▼市内在住の10人以上のグル
ープ 申し込み・問い合わせ▼商
工課へ



Think Globally, Act Locally.

考えは地球規模で、行動は足元から



環境配慮行動指針を策定

キーワードは「共生」「循環」「地球環境」「協働」

地球にやさしい

環境先進都市をめざして

本市は、自然と共生し、環境へ
の負荷の少ない循環型社会の実現
をめざして、平成12年3月に「安
城市環境基本条例」を制定しまし
た。また、昨年3月には、環境の
保全及び創造に関する施策の総合
的かつ計画的な推進を図るため、
市民の皆さんの参画のもと、「安城
市環境基本計画」を策定しました。
しかし、これらを実効力のある
ものにするためには、市民・事業
者・市が相互に連携をとりながら
具体的に行動する必要があります。
環境を守るための
具体的な行動指針を明示
そこで、同計画を着実に推進す
るため、市民・事業者・市の各主
体の具体的な行動の指針を定めた
ものが、今回策定した「安城市環
境配慮行動指針」です。対象とす
る期間は、平成14年度から平成18
年度までの5年間です。
この行動指針は、各主体別の取

環境に関する体系図

環境基本条例

環境基本計画

環境配慮行動指針

本編	環境基本計画の環境目標に沿った各主体（市民・事業者・市）の取り組みをまとめたもの
市民編	「共生」「循環」「地球環境」「協働」の4つの大きなテーマに沿って、市民一人ひとりの取り組みを具体的に示したものの
事業者編	全事業者共通及び農業者・製造業者・建設業者・運輸業者・小売業者それぞれの取り組みを具体的に示したものの「安城市地球温暖化対策実行計画」
行政編	市の事務事業に伴い排出される温室効果ガスを削減するための取り組みなどを具体的に示したものの

小冊子を無料で配布
できることから行動を

今回、市民編、事業者編及び本
編をそれぞれ小冊子としてまとめ

り組みをまとめた「市民編」「事業
者編」「行政編」と、それらを総括
的にまとめた「本編」の計4編か
ら成ります（左図参照）。

ました。環境安全課及び各地区公
民館で無料配布（数に限りがあり
ます）していますので、ぜひ一
読のうえ、具体的に行動してくだ
さい。他人まかせでは環境を守り、
さらに良くしていくことはできま
せん。自分たちのために、愛しい
子どもたちのために、今すぐ、で
きることから始めましょう。